

【経営・経済問題（例題）】

第1問 スタグフレーションを発生させる要因として最も適切なものはどれか。

- ア 賃金の低下
- イ 消費意欲の高まり
- ウ 拡張的な財政政策
- エ 消費意欲の減退
- オ 原油価格の高騰

解答欄	
-----	--

第2問 現代の会社に求められる、経営計画に盛り込むべき目標として最も適切な説明はどれか。

- ア 会社の目的な利益の獲得にあるので、利益目標を明確に示すだけでよい。
- イ 会社は株主のものであるから、高い配当性向を第一義的に明示すべきである。
- ウ 事業活動を推進するための経営計画で、会社の社会的責任をうたうのは好ましくない。
- エ 多様な利害関係者との調和を図るために、その利害を調整のうえ、会社は多元的な目標を掲げるべきである。

解答欄	
-----	--

【法律・労働問題（例題）】

第1問 民法に規定する不法行為に関する次の記述のうち、妥当なものを二つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 精神上の障害により自己の行為の責任を弁識する能力を欠く状態に陥って、他人に損害を与えた者は不法行為責任を負わないが、故意または過失により一時的にその状態を招いて、他人に損害を与えたときは責任を負う。
- 2 他人の不法行為に対し、第三者の権利または法律上保護される利益を防衛するため、やむをえず加害行為をした者であっても、損害賠償の責任を負うので、被害者から不法行為をした者に対して損害賠償を請求することはできない。
- 3 30歳のAは、Bの運転する自動車にひかれ障害を負い、後遺症のため就労することができなくなった。この交通事故の1年後、Aは交通事故とは無関係の不慮の事故により死亡した。この場合、Aの死亡によりその後の損害が発生しないことが確実となったのであるから、Bは、Aの遺族に対し、Aの死亡時までの逸失利益を賠償すれば足りる。
- 4 10歳の少年Aは、Bが所有する無人倉庫に入り込んで火遊びをし、倉庫を全焼させてしまった。この場合、Aの両親は、Aの監督について重大な過失がなければ、Bに対して火災による損害の賠償責任を負わない。
- 5 A会社に勤務するBは、営業活動のためにA会社の自動車を運転中、Cが運転する自動車に追突し、Cに損害を与えた。Cは、A会社に対して使用者責任による損害賠償を請求した。この場合、Cに損害を賠償したA会社は、自己が無過失でありさえすれば、その賠償額全額をBに求償することができる。

解答欄		
-----	--	--